

## 新型コロナウイルス感染症に伴う教育及び学生生活支援の概要について（医学部）

医学部においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染予防に配慮し、4月9日から授業、実習、臨床実習を含む対面型の授業等（以下「対面型授業等」）を中止しました。全寮制という事情を勘案し、学生には全国への感染拡大前に一時帰省を促しました。そして、4月23日から全てメディア授業（eラーニング）に移行しました。これらの対策については、4月に医学部新型コロナウイルス対策関係者会議（議長 大槻副学長）を設置し、本会議において議論、検討しています（週2回開催）。その決定事項は大学HPへ公表しています。

教育面では、メディア授業の実施にあたって、教員によるメディア授業用コンテンツの作成、双方向授業のためのWeb会議システム（BigBlueButton）の導入等を行いました。一方、学生支援については、帰省した学生を含めた全学生に対して、端末の有無や通信環境の状況を調査し、学生がメディア授業を履修できるように、大学から端末やWi-Fiルーターを貸与しています。生活面では、学生生活支援センターや都道府県担当の教員による相談窓口を設置し、特に低学年の1学年、2学年の学生については学年担任会の教員による情報共有を行う等、学生の心身をサポートする体制を構築しています。また、経済的支援の強化も行いました。

新型コロナウイルスについての知見が増え予防策が明らかになる中、6月中旬より、まず、1,2年生から段階的帰寮を開始し、帰寮後の健康観察期間を経て対面型授業等を再開しました。夏休み明けからの全学年の再開に向け、授業開始2週間である8月半ばには全ての学生が帰寮を終えました。

なお、学生全員、2週間の健康チェックとLAMP法によるPCR検査の陰性を確認し帰寮しています。また、接触確認アプリの導入も推奨しています。本学としては全寮制をとる本学医学部ならではの、以下に示す最大限の感染防止対策を講じています。

新型コロナウイルス感染症は当分の間終息する見込みはないと考えられることから、本会議や各種委員会において、新型コロナウイルス感染症に関係する事項について引き続き対策を検討し、教職員、学生一丸となって、かつて経験のない事態を乗り切ることが必要と考えますので、教職員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 【学生の安全を図るための感染防止対策】

- 学生寮内外における新生活の指針の策定とその遵守
- 日々の健康状況を確認するための健康管理システムの運用
- 教室における3密を回避するための新生活の指針の策定
- 安全なBSLについてのガイドラインの策定
- 学内施設使用・アクティビティ方法・学友会サークル活動のガイドライン策定
- 感染した学生が発生した場合の対策マニュアルの策定

（医学部新型コロナウイルス対策関係者会議）